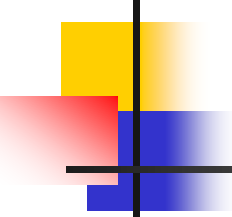


# JAバンク山形県における地域密着型 金融の取組状況について (平成25年度)

**農林中央金庫 山形支店**

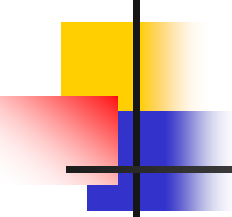
- 
- 
- JAバンク山形県（県内17JAと農林中央金庫山形支店）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
  - この度、平成25年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



## 目次

---

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援  
（JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）  
・・・P.4
2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援  
・・・P.10
3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金  
供給手法の提供  
・・・P.14
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域  
育成への貢献  
・・・P.17



---

# 1. 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援（JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク山形県は、地域における農業者との結びつきを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っております。

## 1-(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- ・ JAバンク山形県は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- ・ 平成26年3月末時点のJAバンク山形県の農業関係資金残高(注1)は479億91百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付残高(注2)は32億14百万円を取り扱っています。

(注1)農業関係の資金残高とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2)JAバンク山形県が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

**【営農類型別農業資金残高】** (単位:百万円)

営農類型	平成26年3月末
穀作	15,561
野菜・園芸	2,710
果樹・樹園農業	2,572
工芸作物	30
養豚・肉牛・酪農	6,031
養鶏・鶏卵	37
養蚕	2
その他農業(注1)	21,048
合計	47,991

(注1)「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

**【資金種別別農業資金残高】** (単位:百万円)

種類	平成26年3月末
プロパー農業資金 <sup>(注1)</sup>	36,087
農業制度資金 <sup>(注2)</sup>	11,904
うち農業近代化資金	1,959
うちその他制度資金 <sup>(注3)</sup>	9,945
合計	47,991

**【農業資金の受託貸付金残高】** (単位:百万円)

種類	平成26年3月末
日本政策金融公庫資金	3,214
その他	0
合計	3,214

(注1)プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

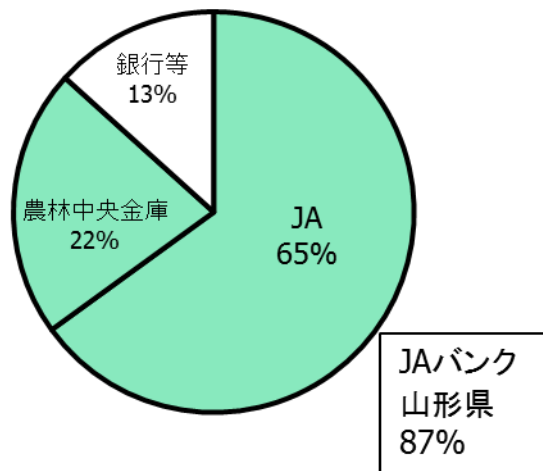
(注2)農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資しているものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3)その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

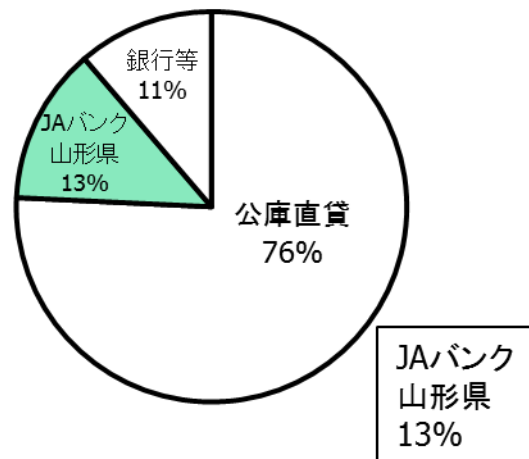
(注)JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付を取り扱っています。

JAバンク山形県は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫農業資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金 融資残高のシェア  
(県内)



日本政策金融公庫 農業資金取扱残高のシェア  
(県内)





## 1-(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

- ・ JAバンク山形県では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- ・ JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内17JAの本店には26人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。
- ・ 農林中央金庫山形支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。
- ・ また、平成23年度に創設された「JAバンク農業金融プランナー」の資格試験に取り組み、県内全JAにおいて、計176名が資格を取得しています。



---

## 2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク山形県は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っております。

## 2-(1) 新規就農者の支援

- JAバンク山形県では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っております。

### 【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

	平成25年度実行件数 (単位:件)	平成25年度実行金額 (単位:百万円)	平成26年3月末残高 (単位:百万円)
就農支援資金 (制度資金)	<b>16</b>	<b>52</b>	<b>729</b>

- 平成22年度から「新規就農応援事業」として、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対する費用助成を行っています。  
平成25年度は6件・670千円の計画を受け付けるとともに、前年度受付分として3件・360千円の助成金を交付しました。

## 2-(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク山形県では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に取り組んでいます。

(単位:先数)

債務者区分	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画の策定先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 C	事業計画策定率 =a/A	ランクアップ率 =b/A
正常先	2	2		2	100.0%	
要注意先	159	6	36	114	3.8%	22.6%
破綻懸念先	139	39	19	116	28.1%	13.7%
実質破綻先	124	26	12	107	21.0%	9.7%
破綻先	3	0	0	3	0.0%	0.0%
計	427	73	67	342	17.1%	15.7%

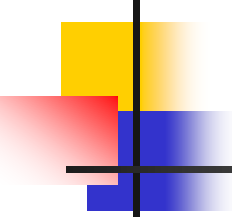
(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成25年3月末時点です。

## 2-(3) 講演会・セミナー等の開催

JAバンク山形県では、農林中央金庫山形支店の融資先のお取引先様や系統団体を招いた講演会と情報交換会を開催しています。

### 【講演会・セミナー等開催実績】

講演会名	参加対象者	参加 団体数	主催者	講演内容
農業法人経営者 セミナー (平成25年8月21日)	融資取引先 一般顧客 系統関係者	32名	農林中央 金庫山形 支店	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題目「燻製卵スモッチによる加工事業の展開」 (有限会社半澤鶏卵 半澤代表取締役)</li> <li>・題目「ピンチはチャンス～獺祭の戦いと軌跡～」 (旭酒造株式会社 桜井代表取締役)</li> </ul>



---

### 3. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供与手法の提供

JAバンク山形県では、担い手の経営実態やニーズの適した資金の提供に努めています。

## 3-(1) 負債整理資金の提供による償還負担の 軽減支援

JAバンク山形県では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

### 【平成25年度負債整理資金の貸出実績】

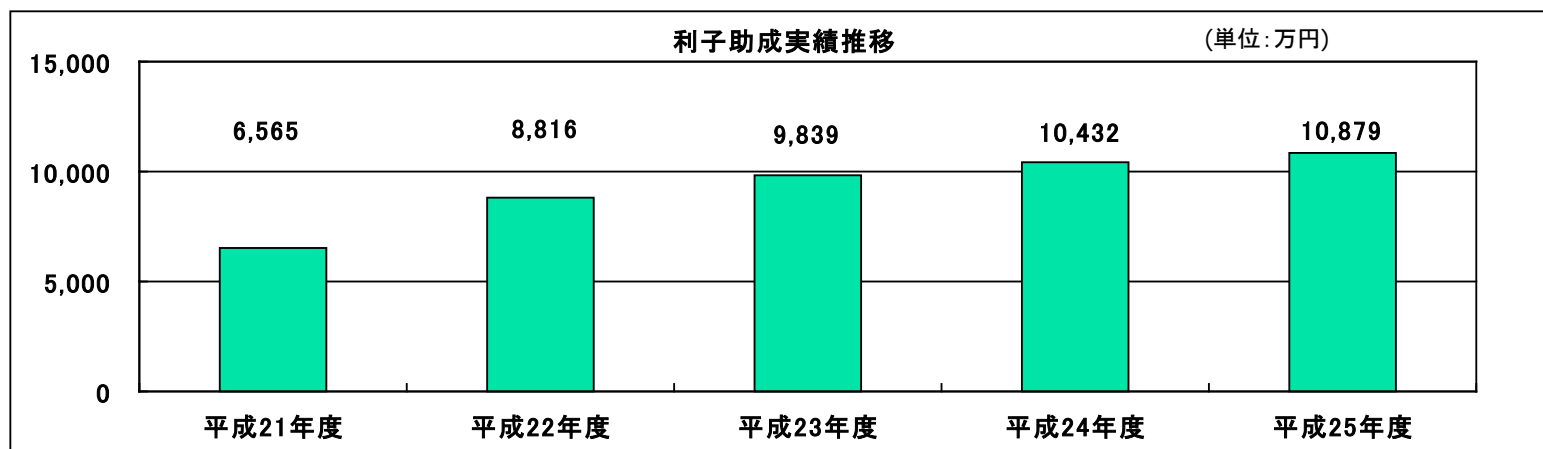
資金名	平成25年度実行件数 (単位:件)	平成25年度実行金額 (単位:百万円)	平成26年3月末残高 (単位:百万円)
農業経営負担軽減支援資金(注1)	1	24	149
畜産特別資金(注2)			433
その他	10	29	2,636
合計	11	53	3,218

(注1)農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

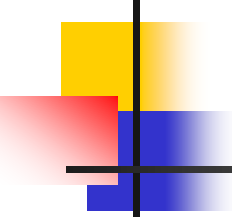
(注2)畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

## 3-(2) 農業融資への利子助成

- ・JAバンク山形県が融資する農機ハウスローン、スーパーS資金、農業近代化資金等の融資に対して、農業振興等に貢献するための事業を展開するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い、農業の担い手への支援を行っております。
- ・平成25年度は、県下17JAの農業資金について、6,608件、1億879万円の利子助成を実施しました。







---

## 4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク山形県では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

## 4-(1) 災害被災者への支援

JAバンク山形県では、自然災害等による被害を受けた農業者を支援するため、災害対策窓口の設置、山形県の災害対策資金への上乗せ利子補給、独自災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応を行っております。

取組事例	件数 (単位:件)	貸付実行金額 (単位:百万円)	内容
暴風・豪雪被害施設復旧等緊急支援資金への利子補給対応	12	15	山形県下JAでは、大雨により農作物等に被害を受け県の災害対策資金の融資を受けた組合員に対し、上乗せ利子補給を行い末端0%の資金を対応しました。
大雨被害者への支援資金の対応	89	124	山形県下JAでは、大雨で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、県連の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。
合計	101	139	

## 4-(2) JAバンク食農教育応援事業の展開

- ・ JAメインバンク山形県は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- ・ 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の約290小学校へ 約1万3千セット配布され、学校の授業等において活用されています。



写真左：教材本「農業とわたしたちの暮らし」

写真右：教材本「農業とわたしたちの暮らし(特別支援教育版)」

(注)このほか、JAバンク山形県などのJAグループ山形では、山形県の理解を深めてもらうための「いのちを育む山形県の農業」の配布を行っております。

また、県下JAでは、子どもを対象とした食農教育を中心とする教育実践活動にも取り組んでいます。

JA名	活動主体	活動名	内容
山形市	JA	西小けやきっこ米作り学習田	米作り学習(田植え・稲刈り・収穫祭)
やまがた	JA	JAやまがたわんぱくアグリスクール	管内小学生3～6年生による農業体験等スクールの開催
てんどう	JA	給食を通して食育サポート	管内新入児童への給食用弁当箱の贈呈、および地元食材を給食に含め地産地消への理解を深める活動を実施
みちのく 村山	青年部	バケツ稲栽培と収穫祭り	水稻のバケツ栽培(栽培と収穫)、収穫祭
		食農教育(田植え、稲刈、収穫祭)	管内小学生3～6年生による水稻栽培学習
		食農教育(尾花沢すいか・米)	管内小中学生によるすいか・稲の栽培、収穫体験
さくらんぼ ひがしね	JA	果樹王国ひがしね農業体験スクール2013	管内小学生3～6年生を対象に、ぶどうの収穫体験とサンプリング、学習会、昼食会の開催
		地産地消 子ども料理教室	管内小学生3～4年生を対象に、地元食材を使った料理教室、および農業への興味醸成のための勉強会を開催
		みんなのよい食「ポスターコンクール」	管内小学生4～6年生を対象にしたポスター・標語のコンクール

JA名	活動主体	活動名	内容
金山	JA	もちつき体験教室	幼稚園児・地区住民を対象に、もちつき体験と山形県産農産物の試食会の開催
山形おきたま	JA	アグリスクール「ちゃぐりんキッズクラブ」	管内の小学生を対象とした食農教育活動並びに農業体験教室の開催
	青年部	食農教育活動	稲作・畑作体験による食農教育
鶴岡	JA	学校畑・稲作体験教室	管内小学生による学校畑や学校田による播種(田植え)から収穫までの体験教室の開催
庄内たがわ	農政対策推進協議会	「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール	作文・図画のコンクール
	青年部	お米作り体験教室・体験交流会	小学生に対する稲作出前事業
あまるめ	JA	稲作体験教室	小学生の親子を対象に、稲作作業の体験とご飯の試食会を開催。稲刈り体験時はJICA研修生も招いた。
そでうら	青年部	お米学習教室	管内小学生3・5年生による水田に係る農作業体験等